

町田通勤寮だより

NO 52 2015年7月

東京都町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042(739)0491

巻頭言

通勤寮長を命じられてから、早いもので一年が経ちました。本当に「あっ！」という間の一年です。「目の前の課題」に取組むことに追われる日々の中で、寮長として「どんな仕事ができたのか」と思い返しています。

ご存じのとおり『なでしこ』が連覇を目指した女子サッカーワールドカップがカナダで開催されました。『なでしこ』はグループリーグから無敗で勝ち上がりましたが、決勝のアメリカ戦では2・5で敗れ、ロンドン五輪に続いての準優勝という結果となりました。

グループリーグ初戦、決勝点につながるプレーで足首を骨折してチームから離脱した、安藤選手の話がニュースでも盛んに取り上げられました。離脱後は、安藤選手が初戦で身につけていたユニフォームを着た「クマのぬいぐるみ」がチームと行動を共にしていました。(決勝戦では本人がベンチ入りしていました。) アクシデントにより途中

で離脱した選手のユニフォームをベンチに置くことは時折見られますが、「ぬいぐるみ」というのは「女子チーム」ならはだと思いません。

チームにとっての「マイナス要因を力に換えてチーム一丸となって目標を達成する。」ということはチームスポーツではよくあることです。すべてのメンバー(レギュラー選手だけではなく、控え選手やサポート(裏方)といわれる人も含めて)一人ひとりが与えられている自分の責任を意識して、最大限の力を発揮し協力することで目標を達成することができなのです。

通勤寮もこの「メンバーシップ」を常に意識した「チーム」でありたいと思っています。

(寮長 三階広明)

性講座を終えて

6月25日(木)に助産師である野口としの先生をお迎えし、性講座を行いました。講座テーマは、「自分の体を守るために性感染症について」でした。講座内容は、大きく分けて3つ。

- ①性病についての知識チェック。
- ②性行為により感染する病気。
- ③避妊法。

講座では、性病の種類や具体的な病状、特にエイズについてご説明いただきました。性病に感染しない方法は、性行為をしないことが一番の予防策。しかしこの世に生を受けた生き物である以上、回避できないのが現実です。ならば、自分の身を守る為にも正しい知識を得、

正しく理解するのが大事との事。性行為の相手を特定する事、そして性行為の時は必ず避妊具を使うこと、決して不特定多数の人と関係を持たない事です。ある利用者の率直な感想は、女性の先生で良かった。分かり易い言葉で聞きやすく、具体的な話で良かった。面白かった等という声がありました。利用者さんはこれからの人生が長いので、誤った知識で歩んでほしくありません。

このような機会を決して無駄にせず、心地よい人間関係を育んで欲しいと思います。尚、野口先生にはご多忙中、お時間を作っていただき、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

(主任支援員 武智里峰)

※編集部より 野口先生は東玉川学園で「としの助産院」を開業しています。



優しい野口先生



皆真剣に聴いていました

われました。今回は新社会人となった利用者も数名いることから、就労における基本的な姿勢として「就労に対する心構え」及び「就労を通しての自立」の2点をテーマに講義いただきました。リゾートトラストは、リゾートホテルや会員制ゴルフなどの事業を幅広く手掛けるとともに、障害者雇用の分野では特筆すべき業績を持つことで知られています。約1時間の講義で、従業員育成のプロセスやサポート体制等、図を用いてわかりやすく解説いただきました。利用者の皆様からも「こういう会社に就職したかった!」「自分の職場でもこのようなシステムを入れてほしい!」等、感心の声が続出でした。また、今回は元通勤寮生で現在リゾートトラストにお勤めの従業員Tさんもゲスト参加いただき、実際にご自身がなされている業務について細かく説明頂きました。特にその中で「自分も一度は大きくつまずいた。もうダメ(退職)かとあきらめかけたが、社員さんや支援機関のこまやかなサポートがあつて乗り越えることができた。今は仕事が楽しくてしょうがない。」という言葉が印象的で、日々仕事に関して様々な悩みを抱えている通勤寮現役利用者の皆様の心にも勇気を与えてくださいました。社会人として地域生活を送る上で、就労は最も大切な柱となります。その分、幾度となく壁にぶつかることもあります。利用者の皆様がそれらを乗り越え、Tさんのように生き生きとお仕事を続けられるよう、支援員もしっかりサポートしていきたいと改めて感じております。ご多忙の中、丁寧かつあたたかなお言葉を頂戴いたしました北沢様及びTさんに深く感謝を致します。

(主任支援員 谷本洋)

就労講座

6月12日、渋谷区にあるリゾートトラスト株式会社東京事務支援センター長・北沢健氏をお招きし、平成27年度第1回就労講座が行

生活教養講座

5月19日に今年度に入ってから初めての生活教養講座が開かれました。テーマは「ごみの出し方」についてです。4月に町田市へ移住してきた方はごみの種類や収集日を知っていないのはもちろん、在寮2年目以降の人にも地域生活を見据え、ごみの出し方について全体で再確認することが目的となります。今回も町田市役所環境資源部3R推進課推進係から水草さんと鐘ヶ江さんを講師に招きました。毎年この講座ではお世話になっていきます。

冒頭に講師の水草さんから資源についてのご説明を受けました。使い終わった物品をすぐに捨てるのではなく、「資源」として活用できる場合もあるので、リサイクルすることによって資源を再活用する「3R」の取り組みについて勉強しました。

3Rとは以下のごみを減らすキーワードの頭文字となります。

- ・ Reduce(リデュース…ごみそのものを工夫して減らす)
- ・ Reuse(リユース…物を繰り返し返して大切に使う)
- ・ Recycle(リサイクル…ごみを分別して資源にする)

鐘ヶ江さんの掛け声が続いて復唱すると意外と皆さん息を合わせて元気良く発声していました！

後半は3Rのキーワードの応用として実際のごみの資源化、分け方、その収集日を知るためにクイズの時間となりました。

実際に利用しているごみ袋を用いて水草さんからの問いに真剣に答える人もいれば、敢えてボケる人も。そこから内容を拡張、豆知識を踏まえながら話題を展開していく様はさすがでした。例えば、おむ

つ専用袋は中身が見えないように加工されていることや、私自身も公共の場所を掃除するために作られた「ボランティア袋」なるものの存在を初めて知りました。

最後に利用者さんから趣味について質問を受けた際に、水草さんの「仕事が半分趣味のようなもの」といったご返答には感銘を受け、仕事への情熱を感じました。

ごみ捨てるのルールを守るとは環境を守ることにもつながります。水草さん、鐘ヶ江さん今回もありがとうございました。

(支援員 岩崎龍)



おなじみの町田市のごみ袋



今年度最初の講座でした

クラブ活動

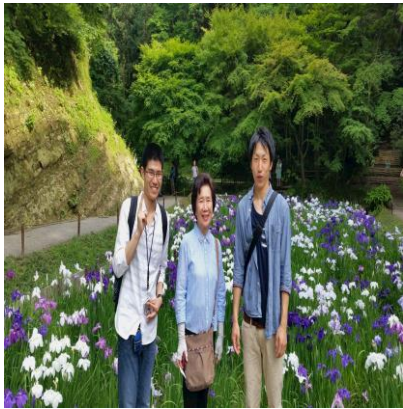
6月7日(日)に2名の男性利用者と講師の川添先生と北鎌倉まで紫陽花を観に出掛けて来ました。北鎌倉で下車し昼食休憩を済ませてから円覚寺へ移動し紫陽花の種類もいくつかある事を教わりました。

柏葉のあじさい、すみだの花火、額あじさい、手まりあじさい…よく見かける形は、丸い形の手まりあじさいだそうです。「これは額あじさいですね。」と教わった種類のあじさいをみつけながら歩き回りました。紫陽花は生け花には向かず、もし生けるのであれば朝露が付く時間帯（早朝）に切らなければ、水を吸い上げる事が出来ずに枯れてしまうそうです。

明月院に移動し、入口から本堂に向かって歩きましたが、見ごろな時期でもあったため、前に進むのもやっとでした。花ショウブもとても綺麗でした。

普段のクラブ活動とは異なり、遠足では季節の花を間近で楽しみ、気分も新たにリフレッシュができました。

次回の開催予定日は9月27日（日）です。たくさん参加者お待ちしております。



満開の菖蒲の前で



気持ちよく散歩できました

(支援員 浅田恵理子)

昼食づくり

6月14日(日)に今年度2度目の調理実習を行いました。

ドタキャンもあり、女性利用者さん1名の参加でちょっと寂しいけれど、マンツーマンで楽しく出来て良かったです。女性利用者さんが出来なかったりベンジメニューを楽しみにしておりました。

献立はオムライス・ゆで野菜・人参の甘煮・スープ・杏仁豆腐です。

ケチャップライスの上にはふわふわの卵を焼いてとても上手なオムライスができました。杏仁豆腐も大成功。満足な仕上がりです。今回の調理実習は8月9日(日)の予定になっておりますので参加お待ちしております。

(調理員 大場加代子)



今回もおいしくできました！



急遽男性利用者が実食

東京都スポーツ大会 ソフトボール

6月6日(土)に東京都障害者スポーツ大会が開催されました。町田通勤寮は上井草総合スポーツ公園でソフトボールの部で試合に参加しました。

天候が懸念されましたが、雨は前夜のうちにあがり、通常ならばグラウンド状態不良にて中止となるところも人工芝故に回避。アンツーカー(マウンドやベース周り赤茶の部分)のぬかるみから使用コートの変更こそあったものの、大会は無事決行されました。

初戦の相手は春日部の古豪みどりクラブです。幾度も対戦しており、対戦成績も互角ですが、特徴的なのが「勝ち負けがはっきりしている」ことです。具体的には序盤に大量に得点或いは失点して、そのまま試合が決まるといった展開が多いのです。その時のチーム状態がストリートに反映されると言えるでしょう。果たして今回は…。

序盤に相手のミスにも乗じて得点!これは楽勝パターンか?と思われましたが、相手も投手やシフトを替えてこちらの攻撃を封じてきました。攻撃面でも弱点を突いてきてジワリジワリと追い上げてきます。こちらもなんとか追加点を奪って引き離す。まるで水漏れしている器に水を注いで凌ぐかのように。辛くも逃げ切りましたが、スコア以上に苦しい戦いだったというのが正直な感想です。

続いての準決勝の相手はあのTYS。そう、東京代表選抜チームです。全国に轟く代表チームも、今年は苦戦続きで、全国大会関東代表の切符も千葉代表に奪われたとのこと。しかし腐ってもなんとやら、強いことに何ら変わりはありません。そのことはプレーボールが

かかってすぐに痛感させられました。まずボール球に手を出さない。他チームがブンブン振ってくれる高めめのきわどいところにピクリとも反応しない。更に低めに集めたストライクを狙い撃ちにしてくる。この攻撃の厄介なところは、鋭い打球が低い弾道で襲ってくることです。つまり正面でもない限り捕ることが難しい。守備が翻弄され、失点を重ねました。この試合は惨敗かと思われましたが、後半から善戦とも言える健闘が攻守に見られるようになってきます。こちらが慣れたのか相手が油断したのか、あるいはいい意味で開き直れたのか、場面に限っては互角の戦いを見せ、敗れはしたものの最終的には相手を結構苦しめてゲームセットの声を聞きました。逆に代表チームは猛練習になるかもしれません。

相手は代表選抜であり毎週練習しているので勝てるものとは思えませんでしたが、その中で結束して立ち向かうことができただけでも良かったと言えるかもしれません。

そう言えば昔から「通勤寮選抜」結成の話が雑談レベルではよく挙がりました。雑談レベルでしかなかった理由は「スケジュール調整が難しい」「素質に頼って真面目に練習しない」「各々の我が強くチームワークが図れない」などいかに通勤寮らしいものばかりでした。個人の力量は高くともそれを集めても足し算にならない…団体競技の難しさであり、面白さであると言えましよう。

さて、敗退してもタダでは帰らないのが町田。「練習試合の相手に困ったら町田」(大会本部関係者)と言われるほど。参加チームの間でも有名です。初戦敗退するとすぐに帰るチームが多いので目立つので

しよう。で、見つけてきた相手は青友会(青島特支OB)。準決勝で敗れてベスト4確定で表彰式まで帰れないとのこと。つまりウチと同じ。大会本部に確認したところ両チーム3位での表彰だとか…これって事実上3位決定戦に俄然メンバーも盛り上がりませう。まあ、審判も両軍の監督、コーチが務め、他チームから選手を借りて補強するなど公式戦と呼べるレベルではありませんでしたが。

試合は競った展開で白熱し、町田の勝利で幕を閉じました。青友会も高齢化が進み、監督の先生もかなり以前に他校に転勤されましたが今なお面倒をみていらっしやるそうです。そんな話からも時代の流れを感じずにはいられません。実は双方に在籍したOBもあり、縁もゆかりもある両チーム、お互い永く続けられたらと思います。

今回は関東ゆうあい大会(8月下旬、柴又)です。

(職業準備支援センター 山内 康紀・支援員 岩崎龍)



急遽、選手宣誓に選ばれました



一塁目掛けてダッシュ!



天候にも恵まれました



堂々の三位入賞

フクシア便り

地域生活援助センターフクシアは今年度、新規ユニットを立ち上げる予定でいます。定員は4と6名で通勤寮卒寮者が中心です。時期的には物件を見つけて職員をしっかりと配置できるようにしてからとなるので多少時間はかかると思いますが、年末までにはと考えています。さて、皆さんも新聞・ニュースでご存じでしょうが、グループホームはあくまでも福祉施設といった扱いで、消防署より「火災報知器の設置義務」が言われています。費用も1ユニット当たりで100万円ほどかかってしまいます。

東京都は3年計画の中で、グループホーム利用者2,000人を目標としており新規立ち上げを奨励しています。しかし、必要である「火災報知器設備」については何の補助も出さないので。東京都は「各市区町村に補助金制度があるので相談してほしい」と話していますが、町田市に相談すると「補助制度はない!」と厳しい返事がありました。

こういった立ち上げに必要な消防設備がすべて法人負担となつてしまえば今後の新規ユニット立ち上げは難しくなると言わざるを得ません。町田市の方で何とか考えて欲しいものです。

(フクシアセンター長 市川嘉)

着任のす挨拶

皆様、はじめまして。今まで仕事などの都合で九州の宮崎、東北の盛岡に住んでいましたが、20年ぶりに生まれ育った神奈川に帰ってきました。美味しいご飯を作れるように頑張ります。よろしくお願ひします。

(調理員 遠藤小百合)

※編集部より 遠藤調理員は6月16日に着任されました。

今後の予定

- 7月15日(水) オンブズマン
- 7月17日(金) 生活教養講座(テーマ「正しい携帯電話の使い方」)
- 7月25日(土) ソフトボール練習(南成瀬小学校)
- 8月22日(土) ソフトボール練習(南成瀬小学校)
- 8月23日(日) 関東ゆうあいソフトボール大会(葛飾柴又野球場)
- 9月6日(日) 町内会防災訓練(南成瀬小学校)
- 9月13日(日) 保護者会(13時45分より)
- 9月27日(日) クラブ活動(お茶・お花)
- 10月4日(日) 宿泊訓練1日目(佐世保市ハウステンボス)
- 10月5日(月) 宿泊訓練2日目(長崎市内)

編集後記

町田通勤寮だより52号をお届けします。

今年の宿泊訓練(旅行)はハウステンボス&長崎市になりました。長崎は九州随一の観光地として名高いですが、福山雅治さんの出身地でもあります。今春、福山さんは、戦災に遭いつつも奇跡的に蘇生した被爆クスノキを題材にした「クスノキ」という歌を発表しています。歌の終わりの「我が魂はこの土に根差し 葉音で歌う生命の叫びを」という歌詞が印象に残ります。今、旅すれば楽しい長崎ですが、宿泊訓練を通して、その土地の文化や歴史を感じ取っていただければと願っています。

次回の町田通勤寮だより53号は9月13日発行予定です。

(編集部)